



東京医科歯科大学医師会



講演会

教皇庁立
グレゴリアン大学学長
上智大学名誉教授

Joseph Pittau 神父

ヨゼフ

ピタウ



『医と倫理』

日時：平成9年9月9日 午後4～5時

場所：東京医科歯科大学歯学部 特別講堂

先着200名

ご希望の方はハガキ又はFaxでお申し込み下さい(入場無料)。
入場券を発送(ハガキ又はFax)いたします。

お申込先 〒113 文京区湯島1-5-45
東京医科歯科大学医師会事務局
Tel 03(5803)5244
Fax 03(5684)2033

主催：東京医科歯科大学医師会
東京医科歯科大学第三内科



講演：医と倫理（要約）

ヨセフ・ピタウ

科学の進歩は大変すばらしいものであり、人間科学の分子生物学的なレベルまで入ってきました。医学もまた、例外でなく今やモノクローンの生物の追求が話題になり、臓器移植も積極的に行われてきています。

こういう時代こそ“人間とは何か”“人はどうあるべきか”をもう一度じっくり考えてみる必要があります。

医の世界においても“病気を治す”“病んだ身体を救う”ことも大切ですが、同時に“人を治す”“人を救う”ことももっと大切です。形而上の治療を十分伴ってこそ本当の医療になるのではないのでしょうか。

Mens sana in corpore sano

Corpus sanum in mento sano

“健全な身体に健全な精神が宿る”という諺がありますが、“健全な精神は健全な身体をつくる”のであり、病人の心に健全な精神を宿すようにしてあげることも人の治療のうえで大きな助けになります。そのためには、健全な心、人を慈しみ愛する心を持った医師であることが大切でしょう。私は“お大事に”という日本語が大好きです。いつも患者さんに“お大事に”と言える医師であってほしいと願ってやみません。

東京医科歯科大学医師会報 第6号

1997年11月1日発行 ©

●発行 東京医科歯科大学医師会〔会長：矢田純一〕

事務局 東京医科歯科大学医学部小児科内
〒113 東京都文京区湯島1-5-45
